第三回全日本東西対抗選抜銃剣道大会
本県代表に佐藤さん（横越下）出場！

十月十日、佐賀県において第三回全日本東西対抗選抜銃剣道大会が開催された。

本村から佐藤作太郎氏（横越下）が県代表として出場した。

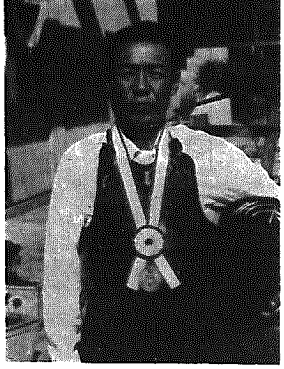
この大会は、教士六段以上の有段者で、過去、ブロック大会及び全国大会で入賞経験がなければ出場できないというきびしい出場資格となっている。

新潟県より二名選抜されたうちの一人である。佐藤氏は現在教士七段、ブロック大会出場七回、入賞四回の成績を上げている。

佐藤氏は東軍で出場、対戦者は、広島県代表教士七段、お互いに実力を発揮し、引分けとなった。

結果としては、西軍が東軍をおさえ優勝した。

今後の佐藤さんの健闘を祈りたい。


メダルをむねに佐藤さん

中蒲原郡新人戦
横中女子（バスケットテニス）で優勝飾る

喜びに沸くテニス部員　右はし大野先生

テニス部（女子）

雨で一年）以来とにかく「他校に追日延びた六月、亀田中学会場でテニス大会が開かれた。

予期以上の好結果を生むことができたが、その第一の原因は、やはり生徒の熱心な練習の結果と思う。毎日の部活動には、常に全員が顔をそろえ、チーム・ワークも大変創設（昨庭球部まくいった。そういう意味でも、今回の初優勝は全員で勝ちとったものといえる。

特に個人戦で、優勝した大野淳久）

成績は次の通り

団体戦（参加四校リーグ戦）
横越　三対〇　亀田
横越　二対一　小須戸
横越　三対〇　愛宕

○優勝（三勝〇敗）

個人戦（二十四チーム参加）

○準決勝
田中、佐藤組三対二小須戸

○決勝
田中、佐藤組三対一小須戸

○優勝
田中裕美子（沢海）
佐藤　順子（横越下）

バスケット等のレー等の活躍について

八月のバスケットボール県大会で男女優勝の余韻が未だ醒めやらない中に、数々の学校行事、生徒会行事が集中した九月は殆んどまったく練習も出来ないまゝに臨んだ十月五日の中蒲原郡新人大会本校会場でのバスケットボールは、本年度が強かっただけにそのぬけた穴は大きく、男子で一人気を吐く宮沢諭もチームの非力さをカバーするまでには至らず、屈辱の二位に甘んじて前途多難を思わせた。

女子は県大会優勝の余勢をかってC坂井八重の抜群の活躍を中心に、いずれも柏崎の舞台を踏んだ二年生は、コート狭しと走り躍び、亀中を翻弄し新しい年への期待を接いだ。

野球部は二年生の中心的な人材が殆んど集中しており、未だ未完ではあるが先が楽しみ。打撃はいいだけに課題はやはり投手の養成と内野手の強化であろう。

バレーボールは二年生六人で一年生にもこれといった選手なく思いやられるところ。

卓球部も一年生の個人での活躍は目立ったもののレベルは低く、余程奮起しないことには前途は暗い。

左にその結果を記して筆をおく。

バスケットボール男子二位
女子一位
女子四位
男子三位
女子五位
バレーボール
卓球

（文、佐々知昭夫）

予防接種法が改正
万一の健康被害に救済も

法改正によるとこれまでの対象疾病から腸チフス、パラチフス・発しんチフス及びペストが除かれ新しく麻しん、風しん及び日本脳炎が加えられました。

予防接種の対象者とされた者はその実施者の実施する予防接種を指定された期日に受けなければならないと義務づけられております。その当該予防接種によって万一健康被害が発生した場合は給付（救済）がなされることになりました。

改正法の予防接種の実施方法

痘そう…生後36ヵ月から生後72ヵ月に至る期間。

ジフテリア…1期、生後3ヵ月から生後72ヵ月に至る期間。

2期、前号の定期の予防接種後12ヵ月から18ヵ月に至る期間。

3期、12歳に達する日の属する年度。

百日ぜき…1期、生後3ヵ月から生後48ヵ月に至る期間

2期、前号の定期の予防接種後12ヵ月から18ヵ月に至る期間。

急性灰白髄炎…生後3ヵ月から生後48ヵ月に至る期間。

＜9月13日に予定していた百日咳、ジフテリア破傷風の混合ワクチン2期は52年の2月～3月に実施いたしますから、その広報をご覧下さい＞

あぶない線路のおき石

最近、こどもによる線路への置き石や、こどもの線路付近での遊びが目立って増えております。

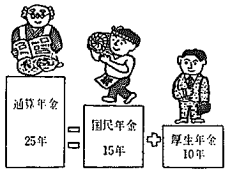
このような置き石や線路への立入りは、一歩間違えば列車の脱線、転覆などの大惨事となります。家庭や地域においては、食事時などの家族団らんの機会や一声かけ運動により

※こどもによる線路への置き石をなくす。

※線路付近でこどもを遊ばせないこと

を徹底し、大衆の足である列車の安全な運行に協力しましょう。

年金制度は通算されます



わが国では、本人の転業により加入する年金制度が異っています。そして、老齢（退職）年金を受けるには、ふつう厚生年金や共済組合などで二十年、国民年金で二十五年その制度に加入することが必要です。ところが、社会事情が大きく変化した今日では、サラリーマンから自営業へ…などと転職を余儀なくされることも珍しいことではなくなりました。

このように、いくつもの年金制度を渡り歩いた場合、それぞれの年金制度の年金を受けるに必要な年数を満たせなくなって自分は、年金が受けられないと早合点をしてしまう人も多いようですが、それは誤りです。

国民年金をはじめ、厚生年金、船員保険、各種共済組合と、現在、わが国にある八種類の公的年金と呼ばれる年金制度の加入期間を合わせて二十五年（国民年金以外を加入期間のみの場合は二十年）以上あれば、それぞれの年金制度からその加入期間に見合う通算老齢年金が支給される仕組みになっています。このように、複数の年金制度をつないで年金が受けられる仕組みを通算年金制度といい、この仕組みで受けられる年金には老齢、障害、遺族（国民年金の場合は遺児）の各年金があります。この通算制度には、ひとつの制度に一年以上加入していることとか、年金を受ける資格期間についても生年月日によりその期間が十年から二十四年（国民年金以外のみの場合は十年から十九年）に短縮されるなどのきまりがありますが、くわしいことは国民年金係におたずねください。

ただ、確実に年金受給権を確保するために、会社や工場などをやめたら国民年金への加入手続きを忘れずに行うこと、厚生年金、船員保険の脱退手当等を受けないようにしましょう。（脱退手当を受けると通算されません）

亀田焼却場見学の協力員等

ごみ焼却場を見学
消費生活協力員研修

村の消費生活推進協力員（代表佐久間順）では、消費者意識の向上と当面する生活ゴミの問題について研修を図るため、一行十五名で、さる九月六日県消費生活センターと亀田ゴミ焼却場を見学しました。

県消費生活センター見学は昨年に続いて二回目ですが、今回は映画「浪費への挑戦」と「新しい食生活」を観賞し（たばかセンター展示商品の説明をうけました。また、亀田焼却場の見学は、焼却場係員の案内で施設の主要部を見て歩き、大工場を思わせる施設の巨大さに一行は驚くとともに、近代的な機械施設による運転操作や多額の費用をかけ、最新技術を結集した公害対策等については、いちいち感嘆していました。

横越村の人口
（51年9月末現在）

総人口8,294人　うち男4,042人　女4,252人
世帯数 1,813世帯
8月の動き　出生13　死亡5　転入17　転出11

おめでた
（9月の出生）

親名	地区
新生児	
饒波　香	横越上
和好　二本木下	
佐藤　友則	横越上
和夫　横越上	
今井裕美子	横越中
国雄　横越中	
神田　純子	横越中
直之　横越中	
駒沢　広幸	馬場
広術　木津下	
板井　幸子	小川
松二郎　二本木中	
才須　佑介	角田
吉博　〃	セツ 73
目黒　英行	78
26	55
	23

おくやみ
（9月の死亡）

新郎新婦	地区
「柴崎」羽賀忠男	横越上
「道子」千葉	県

およろこび
（9月の結婚）

新郎新婦	地区
高橋　優子	二本木中
石川　誠幸	二本木中
中川真由美	小杉上
高野　哲也	小杉下
中村　昭男	横越中
高橋　高夫	横越中
高橋　大樹	横越下
高橋　達二郎	横越下

11月保健衛生業務予定

月日	曜	時間	内容	対象者	会場
11. 5	金	午後1.30～3.00	婦人検診	検診申込者	公民館
11. 8	月	午後1.30～2.30	インフルエンザ	満3才以上	公民館
11. 9	火	〃	〃	〃	旧沢海小 沢海分館
11.10	水	〃	〃	〃	旧木津小 木津分館
11.11	木	〃	〃	〃	旧小杉小 小杉分館
11.15	月	〃	〃	〃	公民館
11.16	火	〃	〃	〃	旧沢海小 沢海分館
11.17	水	〃	〃	〃	旧木津小 木津分館
11.18	木	〃	〃	〃	旧小杉小 小杉分館
11.24	水	〃	乳児検診	50.11～51.4.8月生	公民館